

# 知事公約に係る「取組の方向性」【概要】

知事選挙において公約として知事が掲げた12の政策分野128項目について、県としてどのように対応していくか、庁内での議論を踏まえ、別添のとおり「取組の方向性」として取りまとめました。

今後、この方向性に沿って施策の進め方を検討し、実現に向けた工程をお示しするとともに県の行政計画への反映を検討していきます。

## 1 5大プロジェクト関連の項目 19項目

### ①『人生100年プロジェクト』

健康長寿埼玉プロジェクトにおいて、高齢者が多く参加するスポーツの推進団体等と連携し、コバトン健康マイレージのポイント付与をインセンティブとして高齢者のスポーツ参加を促進します。【保健医療部】

高齢者をはじめ、誰もが参加できるレクリエーション活動などへの支援の拡充や、様々な世代が多様な形でスポーツに参加できる総合型地域スポーツクラブの活動内容の充実に取り組みます。【県民生活部】

No.1 高齢者のスポーツ行動率を引き続き高め、健康寿命を延ばすと共に健康保険料（税）の支払いを抑制します。

### ②『埼玉版スーパー・シティプロジェクト』

急速に進む少子高齢化社会を踏まえ、エネルギーの効率的な利活用を中心に据えた、企業・市町村・家庭等も参画のメリットが得られる、コンパクトな街＝「埼玉版スーパー・シティ」について速やかに検討を進めます。

また、この取組を進めることで、職住近接によるワークライフバランスや子育て環境の向上、高齢者の見守り、空き家対策などにも寄与していきます。

【環境部、都市整備部、危機管理防災部、福祉部、産業労働部】

No.9 「埼玉版スーパー・シティ」構想により、地域包括ケアをすすめ、一人暮らし高齢者の見守りと空き家対策を強力にすすめます。

など8本（No.9、42、43、44、96、114、115、116）

### ③『共生社会プロジェクト』

すべての県民が社会の中で受け入れられ、いきいきと活躍できるよう、環境の整備を進めます。

女性については、キャリア支援を推進して、起業家・管理職の増加に取り組むとともに、女性が様々な職種に参画できるよう支援に取り組めます。また、ウーマノミクス課を政策調整の中心としたワンストップサービス体制の実現に取り組めます。

【総務部、産業労働部、農林部】

LGBTQについては、その実態を調査した上で、大人だけでなく子供・若年者も対象に捉え、社会全体で正しく理解されるよう、積極的に啓発等を実施していきます。

【県民生活部】

No.59 女性のキャリア支援、特に出産後、子育て後のキャリア支援を充実させます。

など5本 (No.59、62、64、67、69)

### ④『あと数マイルプロジェクト』

将来の人口・需要や新たな技術の動向等を十分に把握した上で、公共交通及び道路網のさらなる利便性向上策について、これまでの経緯等も踏まえつつ検討を進めます。限られた予算の中で、県境路線を含めた効果の高い部分について、重点的に整備を進めます。【企画財政部、県土整備部】

No.37 大宮駅を拠点とした東日本連携及び、SR（埼玉高速鉄道）延伸を前提に、東武線をも巻き込んだ交通の便の向上の取組みをすすめます。

など3本 (No.37、73、74)

### ⑤『世界のSAITAMAプロジェクト』

国際的スポーツイベントは県民が世界に目を向ける絶好の機会となることから、日本人と外国人が交流を深めるイベントの多言語による情報発信やボランティアの積極的活用など多文化交流を進めていきます。

改正入国管理法を契機とする外国人材の受入れ・共生のための取組について国の取組を踏まえて生活者の視点から行います。【県民生活部、保健医療部、教育局】

No.87 子供や若者が国際交流できる機会を増やします。

など2本 (No.87、88)

## 2 重点的に取り組む項目 16項目

No.5 医師を増やし、県内に安心の医療ネットワークを作ります。在宅医療も推進すると同時に、医療過疎地域での隣接県との連携を更に強化し、ITを活用した遠隔処方も進めます。

医師の地域偏在、診療科偏在の解消を図るとともに医療機能の分化・連携を進め、高度急性期から在宅まで切れ目のない地域医療体制を整備します。群馬県の隣接地域と合同で会議を開催し、医療連携の強化について協議します。

【保健医療部】

No.21 病児保育所の整備促進を図るとともに、保育園で子供の具合が悪くなくても迎えに行けない時に備えた病児保育施設への送迎システムを、モデル事業を通じて推進します。

地域のニーズに応じ病児保育の受入体制の充実を支援するとともに、送迎システムのモデル事業導入を検討します。【福祉部】

No.29 林業については、ロボット・センサーによる森林管理を推進します。

レーザー搭載ドローンを活用した森林資源調査により得られた情報をクラウド化し、市町村等と情報共有するなど効果的な森林管理について検討します。【農林部】

No.31 ドローンや無人運転トラクターの導入、AIを活用したスマート農業・林業支援を促進します。

農業経営の一層の広域化を目指し、ドローンや無人運転トラクター等の先端技術の導入による効率化・省力化や、AI等を用いた農業に関する技術の伝承などについて、検討を行います。

木材生産・流通の効率向上に向けて、ICT等を活用した林業機械の導入、木材サプライチェーンマネジメントの構築を検討します。【農林部】

No.32 「渋沢栄一創業プロジェクト」を立ち上げ、伴走型の創業支援を行います。併せて、インキュベーション施設の提供や起業家や異業種間がつながれる場を創造します。

渋沢栄一翁の理念を受け継ぎ、革新的なサービスなどの創出に挑戦する起業家に対して、先輩起業家や専門家等による伴走型の支援を行う仕組みを検討します。併せて、インキュベーション施設を引き続き提供するとともに、起業家同士や異業種の企業とのビジネスマッチングを新たに検討します。【産業労働部】

No.38 官民連携を通じてスポーツ・芸術の裾野を広げ、産業化をすすめます。

県の地域資源であるプロ・トップスポーツチームによるスポーツ体験教室等スポーツイベントを支援することにより、スポーツ参加人口の拡大を図ります。

アマチュア文化団体への助成など県民の主体的な文化芸術活動の支援を行います。【県民生活部】

新ビジネスを創出する取組を引き続き支援するとともに、県内のスポーツ産業の集積状況を分析し、展示会への出展支援やビジネスマッチングを新たに検討します。【産業労働部】

No.39 来て、見て、参加して楽しい県立公園を活かした「大宮スーパー・ボールパーク」構想を提案します。

「大宮スーパー・ボールパーク」構想の検討を通じて、大宮公園内にある野球場・サッカー場等周辺施設も含めた整備など、試合のある日も無い日も楽しめる公園を目指します。【都市整備部】

No.41 地域・まちなか商業活性化支援事業等の適用を受ける商店街への支援を行います。よろず支援拠点を含めた産業振興の仕組みと姿勢を見直し、プッシュ型支援の組織を構築します。

事業の適用を目指す商店街に対し、市町村等と連携して専門家の派遣や情報提供などによる支援を行います。また、よろず支援拠点との連携を強化するとともに、県内中小企業のニーズを把握し、きめ細かい支援を行います。【産業労働部】

No.83 eスポーツの普及、参加の場所の拡大に取り組めます。

スポーツとしての可能性や、スポーツ普及のツールとしての活用などの検討を行います。【県民生活部】

民間企業等がソニックシティやS K I Pシティなどを会場に開催するeスポーツイベントと連携し、県内誘客や普及・広報を図ります。【産業労働部】

No.84 「大宮スーパー・ボールパーク」構想や国際規格の競泳プール整備をすすめます。

国内主要大会が開催可能なプール、最先端技術で競技力・健康をサポートするプールをコンセプトに整備を進めてまいります。【県民生活部】

「大宮スーパー・ボールパーク」構想の検討を通じて、大宮公園内にある野球場・サッカー場等周辺施設も含めた整備など、試合のある日も無い日も楽しめる公園を目指します。【都市整備部】

No.94 埼玉県版F E M Aを立ち上げ、災害や被害の状況に応じて必要な組織が連携できる体制を作り上げ、ブラインド演習の実施、備蓄、協力団体等との連携強化、啓もう活動の強化にも努めます。（F E M A＝危機管理のためのアメリカの政府機関）

被災市町村の災害対応業務を支援する職員派遣チームを設けるとともに、主要災害ごとのシナリオを想定しながら、職員の専門研修や訓練の充実を図ります。

また、協定締結事業者との連携体制や災害ボランティア団体との協力体制の充実を図ります。【危機管理防災部】

No.95 災害発生時の県業務継続計画（B C P）を抜本的に見直します。

職員の被災等を前提としたより厳しい想定に基づき職員の参集可能人数を見直すとともに、非常時優先業務と職員の応援体制の整理を行います。

【危機管理防災部】

No.119 行政のIT化、ペーパーレス化を進めて県民サービスの向上とコスト削減に取り組めます。

AI・RPAなどの新技術の積極的な活用や「ペーパーレス大作戦」の推進により、県民サービスの向上とコスト削減に努めます。【企画財政部】

No.121 県庁内における積極的なサイバーセキュリティ対策を実施し、警察、官民CERT及び、県内自治体へと情報共有を行います。

情報セキュリティポリシーを随時更新しながら、サイバーセキュリティ対策を強化してきました。引き続き関係機関、市町村と情報共有及び連携を行いながら、更なるセキュリティ対策を順次実施していきます。【企画財政部】

平成26年より、埼玉県内に所在する「産」「学」「官」の関係機関、団体が緊密に連携して、サイバー空間の実態把握、情報共有等を目的とし、埼玉サイバーセキュリティ推進会議（SCSC）を運営してきました。引き続き、同会議を通じた情報共有等により、官民連携した先制・能動的なサイバーセキュリティ対策を推進していきます。【警察本部】

No.124 県民と直接対話できるよう「どこでも知事室」を開催します。

県民本位の県政をより一層推進するため、県民との直接対話を重視した「どこでも知事室」を実施します。【県民生活部】

◎ 埼玉で「SDGs」を実現する（埼玉版SDGs = “S” SDGs）

5か年計画において「17の目標」と施策との関係を十分に整理し、また、重点的な取組等を検討した上で、SDGsの取組を政策横断的に推進していきます。

【企画財政部 他関係部局】